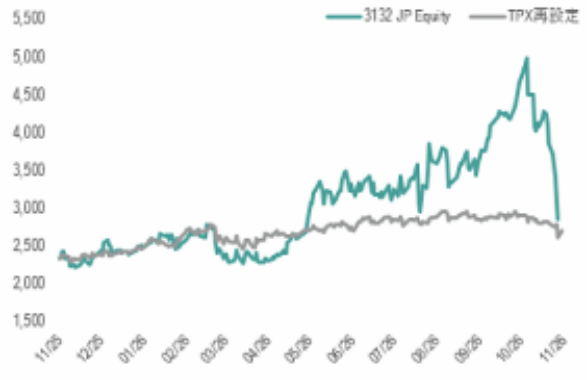
面談・コールご依頼はこちら

マクニカホールディングス (3132)

半導体事業が業績予想の上方修正を牽引

2026 年 11 月 9 日

株価: 2,922 円　時価総額: 5,232 億円



出所:ブルームバーグ

2027 年 3 月期 2Q 決算アップデート

- **業績モメンタムが強まる** – 2027 年 3 月期上期決算は、AI 関連需要に支えられ、半導体製造装置メーカーを中心とした産業機器分野やコンピュータ分野が好調に推移した。2027 年 3 月期第 2 四半期の受注高は過去最高を更新し、需要の先行きに対する確度が高まった一方、納期の長期化が受注の売上計上ペースに影響する可能性がある。サイバーセキュリティ事業は高成長も、低粗利の大型案件の一時的な増加や営業費用増により、利益率を圧迫。戦略上重要な CPS ソリューション事業では、スマートシティ/モビリティの売上計上に遅れが生じた。同社は 2027 年 3 月期の業績予想を上方修正し、1 株当たり配当予想を 80 円から 90 円へ引き上げるとともに、50 億円の自社株買いを発表。株主還元の強化とともに、業績の先行きに対する自信を示したとみられる。

サービス主体への転換には時間を要する

- **会社予想を上方修正** – 2027 年 3 月期会社予想の上方修正は、高い受注のビジビリティと海外市場での事業拡大を背景とした、半導体事業の見通し改善が主因だ。ただし、事業別の状況は一様ではない。サイバーセキュリティ事業では利益率の低下が見込まれ、CPS ソリューション事業ではスマートシティ/モビリティの売上拡大に引き続き苦戦している。より高収益なサービス＆ソリューション型への転換という戦略の方向性に変わりはないが、その実現にはなお時間を要する可能性がある。
- **バリュエーション** – 修正後当社予想に基づくと、2028 年 3 月期予想 PER は 10.0 倍（予想営業利益成長率は前年比 14.6%）。マクニカ HD は、幅広い半導体・サイバーセキュリティ需要に加え、AI 関連投資への間接的なエクスポージャーを提供する銘柄であると当社は引き続き考える。また、経営陣が進める高付加価値のソリューション＆サービスの拡大は、長期的なリターンを支える独立した成長要因となる。

年度末	3/25	3/26	3/27E	3/28E	3/29E
売上高（10億円）	1,034.18	1,214.20	1,689.69	1,800.12	1,919.25
営業利益（10億円）	39.65	41.95	67.61	77.50	88.33
純利益（10億円）	25.28	27.77	46.40	52.17	60.37
EPS（円）	140.93	155.54	259.91	292.25	338.19
1 株当たり配当（円）	70.00	70.00	90.00	100.00	120.00
売上高伸び率 (%)	+0.5	+17.4	+39.2	+6.5	+6.6
営業利益成長率 (%)	-37.8	+5.8	+61.2	+14.6	+14.0
純利益成長率 (%)	-47.4	+9.8	+67.1	+12.4	+15.7
EPS 成長率 (%)	-46.8	+10.4	+67.1	+12.4	+15.7
PER（倍）	20.7	18.8	11.2	10.0	8.6
EV/EBITDA（倍）	12.8	12.0	7.5	6.6	5.8
EV/売上高（倍）	0.5	0.5	0.3	0.3	0.3
PBR（倍）	2.1	1.9	1.7	1.5	1.3
ROE（%）	10.2	10.5	15.8	15.9	16.2
ROCE（%）	15.1	14.4	16.9	17.6	18.1
FCF 利回り（%）	3.9	3.0	(12.8)	7.2	6.3
配当利回り（%）	2.4	2.4	3.1	3.4	4.1
総還元利回り（%）	3.0	2.4	4.0	3.4	4.1

出所:会社データ、アストリス・アドバイザリー予想

リターン

	年初来	1M	3M	12M
絶対（%）	+22.1	-37.0	-19.3	+28.7
相対（%）	+9.0	-32.2	-13.9	+11.2

業種

電子部品商社
電子装置・機器（GICS）

株式情報

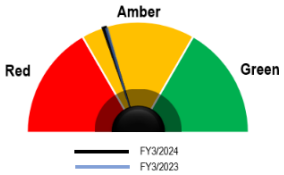
株価（円）	2,922
時価総額（10 億円）	523.2
時価総額（百万米ドル）	3,312.4
52 週株価レンジ（円）	2,184-5,096
発行済株式数（百万株）	179.1
平均売買代金（百万ドル）	27.7
浮動株比率（%）	76.6
外国人持株比率（%）	30.7
証券コード	3132
上場市場	東証プライム
ネット D/E レシオ（倍）	0.1
FFO レバレッジ（倍）	5.6
ブルームバーグ 買い｜ホールド｜売り	0|1|0

出所:ブルームバーグ

事業概要

マクニカ HD は半導体およびネットワーク関連製品の専門商社。50 年以上の実績を有し、世界で 28,000 社超の顧客に製品・サービスを提供し、380 社の仕入先と取引している。

アストリス・サステナビリティ ESG 評価



参考評価

MSCI	BBB
Sustainalytics	14.6
Refinitiv	N/A
S&P Global	58.0
Bloomberg	N/A
CDP	A-

今後の予定

2027 年 2 月:2027 年 3 月期 3Q 決算

Tel: +81 3 6868 8797
Email: Corporateresearch@astrisadvisory.com

本レポートは当該企業の委託・費用負担により作成。

直近の決算

2027 年 3 月期上期決算

前年同期比で大幅な増収増益

主要業績

（10 億円）	26/3 期 2Q	26/3 期 3Q	26/3 期 4Q	27/3 期 1Q	27/3 期 2Q	前四半期比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	**293.82**	**312.72**	**326.04**	**393.44**	**437.85**	**+11.3**	**+49.0**
売上原価	262.22	278.97	289.23	352.25	394.76	+12.1	+50.5
売上総利益（損失）	**31.60**	**33.75**	**36.81**	**41.20**	**43.09**	**+4.6**	**+36.4**
売上総利益率（%）	**10.8**	**10.8**	**11.3**	**10.5**	**9.8**		
販管費	22.30	22.99	23.13	24.69	26.08	+5.6	+17.0
営業利益（損失）	**9.31**	**10.76**	**13.68**	**16.51**	**17.01**	**+3.0**	**+82.7**
営業利益率（%）	**3.2**	**3.4**	**4.2**	**4.2**	**3.9**		
経常利益	9.65	10.09	12.57	16.25	16.50	+1.5	+71.1
親会社株主に帰属する純利益	5.93	7.32	9.42	10.93	11.35	+3.8	+91.4
平均為替レート：							
ドル円	**146.33**	**151.50**	**155.95**	**158.80**	**160.70**	**+1.2**	**+9.8**

出所：会社データ

半導体事業が業績を牽引

セグメント別業績

（10 億円）	26/3 期 2Q	26/3 期 3Q	26/3 期 4Q	27/3 期 1Q	27/3 期 2Q	前四半期比 (%)	前年同期比 (%)
売上高							
半導体事業	252.9	269.3	269.8	334.9	386.4	+15	+53
サイバーセキュリティ	39.0	41.2	52.1	56.7	49.1	-13	+26
CPS ソリューション	1.9	2.3	4.3	1.8	2.3	+25	+21
セグメント利益（損失）							
半導体事業	7.6	8.9	9.7	13.7	15.6	+14	+105
サイバーセキュリティ	3.5	3.9	5.4	5.4	3.5	-35	-1
CPS ソリューション	(1.8)	(2.0)	(1.4)	(2.6)	(2.1)	-	-
セグメント利益率（%）							
半導体事業	3.0	3.3	3.6	4.1	4.0		
サイバーセキュリティ	9.1	9.4	10.4	9.5	7.1		
CPS ソリューション	-98.2	-85.9	-33.0	-144.4	-91.3		

出所：会社データ

主なポイント

半導体事業が好調

2027 年 3 月期上期決算は、売上高・営業利益ともに前年同期比で大幅な二桁成長となり、非常に好調だった。産業機器・車載分野を中心として好調に推移したほか、AI 関連需要によってコンピュータ分野も牽引した。同社は 2027 年 3 月期会社予想を上方修正し、1 株当たり配当予想を 80 円から 90 円に引き上げるとともに、50 億円の自社株買い（発行済株式数の 0.9%）を発表した。

2027 年 3 月期上期の好業績を支えた主な要因は以下のとおり。

- 注力している産業機器・車載分野に加え、AI 用途が半導体事業の主要な成長要因に – 国内・海外ともに高い売上成長を達成した（それぞれ前年同期比 30%増、75%増）。国内では、半導体製造装置・FA 工作機械向け等の産業機器分野で需要が回復したほか、車載分野でも顧客の在庫調整が一巡し、受注が回復。また、メモリは産業機器分野を中心とした需要回復や価格改定を背景に増加した。海外では、AI 関連需要の拡大に伴う産業機器分野等の需要増加が牽引し、商流移管も寄与した。
- 円安も追い風となった。平均ドル円レートは会社想定の 150.0 円に対し 159.75 円となり、売上高の約 70～80%が米ドル建てである同社にとってプラスに働いた。
- サイバーセキュリティ事業は、エンドポイントセキュリティ、ASM（アタックサーフェス管理）、SASE（セキュア・アクセス・サービス・エッジ）などが国内外で引き続き好調に推移し、高い増収率を維持した。ただし、大型案件の一時的な増加による利益率の低下や人件費の増加等により収益性は低下した。
- CPS ソリューション事業は、自動運転 EV バスの販売不振により会社計画を下回った。

2027 年 3 月期会社予想を上方修正

同社は以下を踏まえ、2027 年 3 月期会社予想を上方修正した。

- 半導体事業が大幅に上振れ – 半導体事業の売上高は前期比 40%増を見込み、利益率も上方修正した。業績の可視性が高いことを示している。
- サイバーセキュリティ事業の売上予想を引き上げ – 売上成長の加速を見込む一方、セグメント利益率は前期比で 1.0 ポイント低下する見通し。
- CPS ソリューション事業の損失が拡大 – 想定した売上成長が実現せず、前期比で損失が拡大する見通し。

半導体事業の好調が上方修正の主因

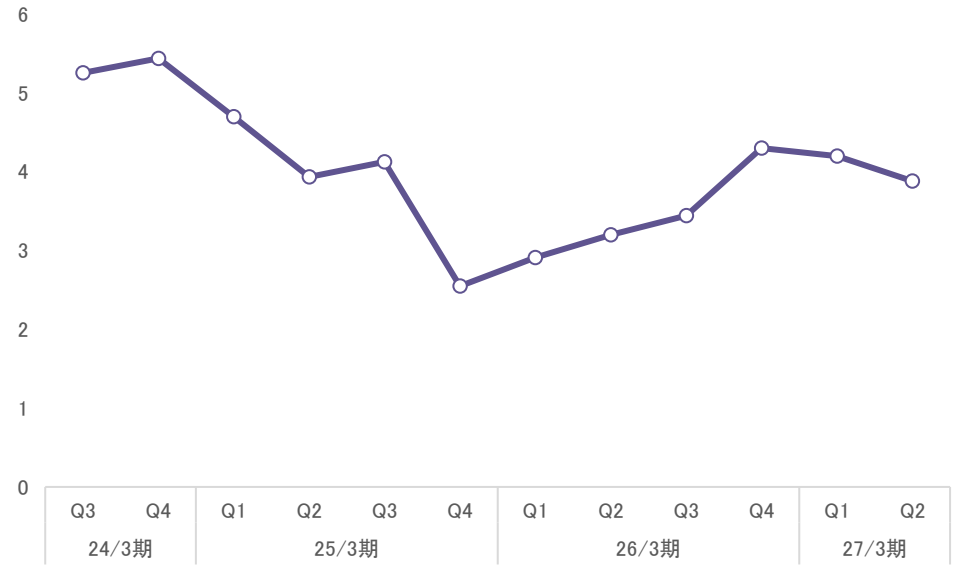
2027 年 3 月期の修正後会社予想

（10 億円）	26/3 期 実績	前年比 (%)	27/3 期会社予想（旧）	前年比 (%)	27/3 期会社予想（新）	前年比 (%)
売上高	**1,214.2**	**+17.4**	**1,300.0**	**+7.1**	**1,670.0**	**+37.5**
半導体事業	1,030.6	+18.3	1,088.0	+5.6	1,443.0	+40.0
サイバーセキュリティ事業	173.9	+13.0	196.0	+12.7	216.0	+24.2
CPS ソリューション事業	9.8	+5.4	16.0	+63.4	11.0	+12.4
営業利益	**42.0**	**+5.8**	**52.0**	**+24.0**	**67.5**	**+60.9**
半導体事業	32.0	+0.6	37.5	+17.3	56.5	+76.6
サイバーセキュリティ事業	17.0	+23.2	20.1	+17.8	19.0	+11.5
CPS ソリューション事業	(7.1)	N/A	(5.6)	-	(8.0)	-
営業利益率（%）	**3.5**		**4.0**		**4.0**	
半導体事業	3.1		3.4		3.9	
サイバーセキュリティ事業	9.8		10.3		8.8	
CPS ソリューション事業	-72.5		-35.0		-72.7	
経常利益	37.39	+0.2	47.0	+25.7	66.0	+76.5
親会社株主に帰属する当期純利益	27.77	+9.8	32.0	+15.3	46.0	+65.7
平均為替レート:						
ドル円	149.99	-1.7	150.00	-	158.00	+5.3

出所：会社データ

営業利益率に低下の兆し

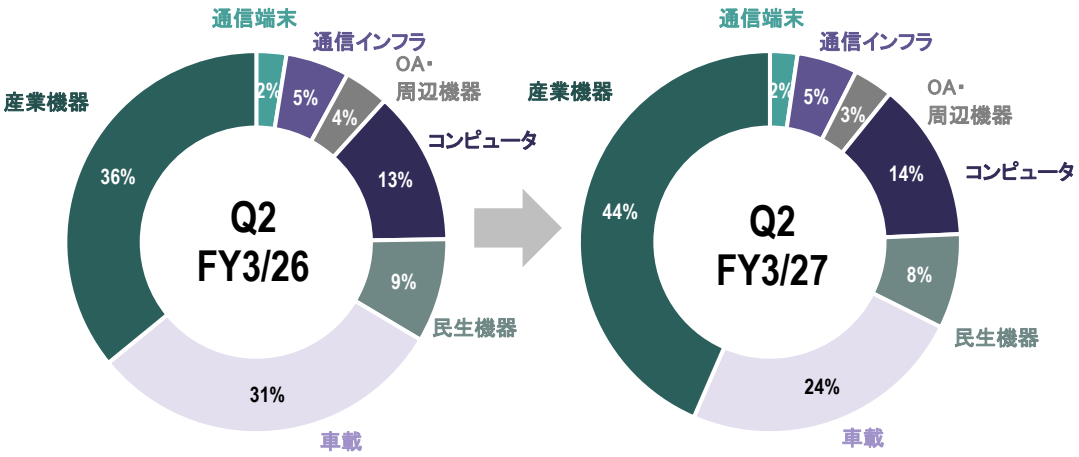
四半期営業利益率（%）



出所：会社データ

産業機器向けが大幅に拡大

半導体事業の用途別売上構成：2026 年 3 月期 2Q と 2027 年 3 月期 2Q



出所：会社データ

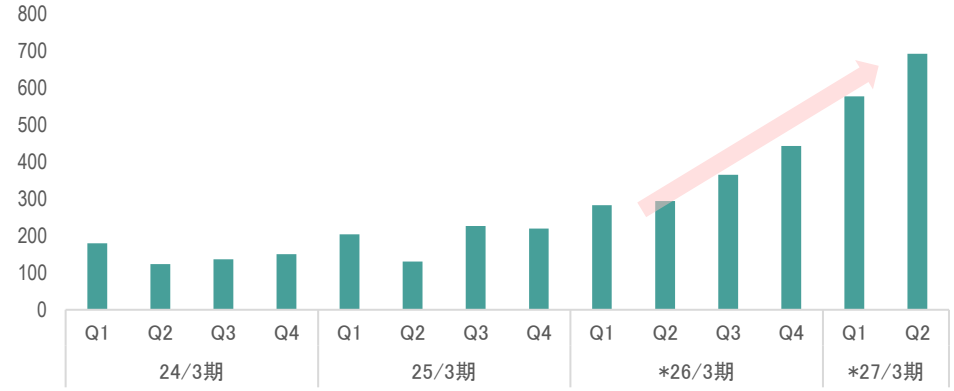
見通し

2027 年 3 月期第 2 四半期の半導体事業の受注高は再び過去最高を更新しており、需要は引き続き旺盛だ。ただし、一部では納入までの期間が長期化していると当社はみている。受注の拡大は需要のビジビリティを高める一方、納入リードタイムの長期化により受注残の売上転換が遅れ、一部の売上高と利益が後の期間にずれ込む可能性がある。

- **半導体事業の四半期受注高は過去最高水準を維持** – 2027 年 3 月期第 2 四半期の受注高は前年同期比 136%増（前四半期比 20%増）となった。四半期 BB レシオも過去最高の 1.8 倍に達した。
- サイバーセキュリティ事業は安定成長が続くと当社はみている。AI 導入の進展に伴い企業の IT 資産は多様化・複雑化している。また、サイバー攻撃による大規模な業務停止や業績への影響が相次いでおり、企業はサイバーセキュリティ投資を拡大している。
- 戦略上重要な CPS ソリューション事業が利益を生み出すには、なお時間を要するとみられる。

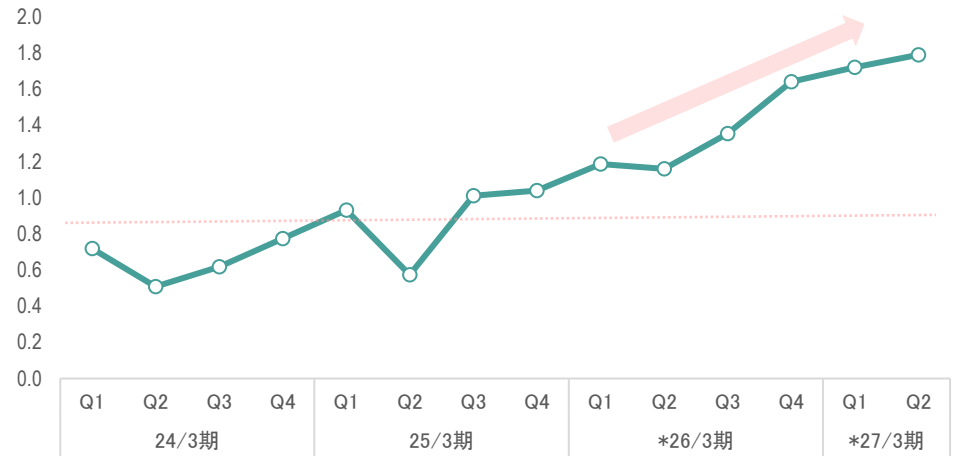
半導体事業の受注高は過去最高水準を維持

半導体事業の四半期受注高（10 億円）



出所：会社データ
注*：新たな売上区分に基づく

半導体事業の四半期 BB レシオ



出所：会社データ

当社業績予想と主な前提

2027 年 3 月期の修正後会社予想を踏まえ、当社は同年度以降の業績予想を修正した。その後も中期的に安定成長が続くと予想する。主な変更点は以下のとおり。

- 半導体事業 – 2027 年 3 月期の売上成長率を従来の前期比 27.0%から 42.0%に引き上げた。セグメント利益率も 3.4%から 3.9%へ上方修正した。
- サイバーセキュリティ事業 – 2027 年 3 月期の売上成長率を従来の前期比 15.0%から 25.0%に引き上げた。一方、コスト増を踏まえ、セグメント利益率は 10.5%から 9.0%に引き下げた。
- CPS ソリューション事業 – 修正後会社予想に沿って前期比でのセグメント損失拡大を織り込んだ。損益均衡の達成時期は 2029 年 3 月期へ後ずれすると予想する。
- 同社は、2028 年 3 月期末までの中期経営計画期間中に 500～800 億円規模の M&A による成長投資を実施する計画を公表している。ただし、これまで大規模な買収実績がなく、会社予想にも織り込まれていないことから、当社は計画期間中の進捗と実行状況を注視する。

2027 年 3 月期の 1 株当たり配当予想を 90 円に修正した。2028 年 3 月期および 2029 年 3 月期の予想は据え置いたが、総還元性向 40～50%または DOE5%を踏まえると、上振れ余地があるとみている。

アストリス・アドバイザリー業績予想

年度末	27/3 期 会社 予想 （旧）	27/3 期 会社 予想 （新）	27/3 期 当社 予想 （旧）	27/3 期 当社 予想 （新）	28/3 期 当社 予想 （旧）	28/3 期 当社 予想 （新）	29/3 期 当社 予想 （旧）	29/3 期 当社 予想 （新）
売上高								
半導体事業	1,088.00	1,443.00	1,306.32	1,460.61	1,371.64	1,533.64	1,440.22	1,610.32
成長率（%）	*+5.6*	*+40.0*	*+27.0*	*+42.0*	*+5.0*	*+5.0*	*+5.0*	*+5.0*
サイバーセキュリティ事業	196.00	216.00	199.99	217.38	225.98	249.98	255.36	287.48
成長率（%）	*+12.7*	*+24.2*	*+15.0*	*+25.0*	*+13.0*	*+15.0*	*+13.0*	*+15.0*
CPS ソリューション事業	16.0	11.00	16.38	11.70	23.10	16.50	30.02	21.45
成長率（%）	*+63.4*	*+12.4*	*+40.0*	-	*+41.0*	*+41.0*	*+30.0*	*+30.0*
売上高合計（10 億円）	**1,300.00**	**1,670.00**	**1,522.69**	**1,689.69**	**1,620.72**	**1,800.12**	**1,725.61**	**1,919.25**
成長率（%）	*+7.1*	*+37.5*	*+25.4*	*+39.2*	*+6.4*	*+6.5*	*+6.5*	*+6.6*
半導体事業	37.50	56.50	44.41	56.23	49.38	58.28	57.61	59.58
営業利益率（%）	*3.4*	*3.9*	*3.4*	*3.9*	*3.6*	*3.8*	*4.0*	*3.7*
サイバーセキュリティ事業	20.10	19.00	21.00	19.56	23.73	25.00	26.81	28.75
営業利益率（%）	*10.3*	*8.8*	*10.5*	*9.0*	*10.5*	*10.0*	*10.5*	*10.0*
CPS ソリューション事業	(5.60)	(8.00)	(5.41)	(8.19)	-	(5.77)	1.26	-
営業利益率（%）	*-35.0*	*-72.7*	*-33.0*	*-70.0*	-	*-35.0*	*4.2*	-
営業利益（10 億円）	**52.00**	**67.50**	**60.01**	**67.61**	**73.11**	**77.50**	**85.68**	**88.33**
成長率（%）	*+24.0*	*+60.9*	*+43.1*	*+61.2*	*+23.3*	*+14.6*	*+17.3*	*+14.0*
営業利益率（%）	**4.0**	**4.0**	**3.9**	**4.0**	**4.5**	**4.3**	**5.0**	**4.6**
EBITDA（10 億円）	**-**	**-**	**66.10**	**74.37**	**79.59**	**84.70**	**92.59**	**96.01**
成長率（%）	-	-	*+42.1*	*+59.8*	*+20.4*	*+13.9*	*+16.3*	*+13.3*
EBITDA 利益率（%）	**-**	**-**	***4.3***	***4.4***	***4.9***	***4.7***	***5.4***	***5.0***
FCF（10 億円）	**-**	**-**	**61.77**	**(67.02)**	**26.04**	**37.59**	**65.60**	**32.86**
FCF マージン（%）	-	-	*4.1*	-	*1.6*	*2.1*	*3.8*	*1.7*
FCF コンバージョン（%）	-	-	*108.2*	-	*37.4*	*50.0*	*79.6*	*37.9*
FCF 利回り（%）	**-**	**-**	**11.8**	**-**	**5.0**	**7.2**	**12.5**	**6.3**
DPS（円）	**80.00**	**90.00**	**80.00**	**90.00**	**100.00**	**100.00**	**120.00**	**120.00**
配当利回り（%）	2.7	3.1	2.7	3.1	3.4	3.4	4.1	4.1
配当性向（%）	46.3	34.9	36.0	34.6	36.8	34.2	37.2	35.5

出所: 会社データ、アストリス・アドバイザリー
注: FCF コンバージョンは FCF/税引前利益。
2026 年 3 月期より、「ネットワーク」セグメントは「サイバーセキュリティ」セグメントに名称変更。当社は従来、CPS ソリューション事業の業績予想を開示していなかった。

当社業績予想を、2027 年 3 月期の修正後会社予想および中長期目標と比較すると、以下の点が挙げられる。

- 2028 年 3 月期の中期営業利益目標は、売上成長により達成が視野に入りつつある。一方、利益率の引き上げには難しさが残る。
- 2031 年 3 月期の会社目標は、2028 年 3 月期から 2031 年 3 月期までの売上高の年平均成長率約 13%を示唆しており、引き続き高成長を目指している。

高いリターンを目指す

会社予想・目標と当社業績予想

（10 億円）	27/3 期 修正会社予想	27/3 期 当社予想（新）	28/3 期 中期目標	28/3 期 当社予想（新）	31/3 期 長期目標
売上高	**1,670.00**	**1,689.69**	**1,400.0**	**1,800.12**	**2,000**
営業利益	**67.50**	**67.61**	**80.0**	**77.50**	**150**
営業利益率（%）	4.0	4.0	5.7	4.3	7.5
ROE (%)	-	15.8	15.0	15.9	15.0

出所：会社データ、アストリス・アドバイザリー予想

サマリー

半導体・電子機器・ネットワーク関連製品の専門商社

マクニカホールディングス（マクニカ HD）は半導体、電子機器、サイバーセキュリティ製品の専門商社で、世界 33 ヵ国・地域に事業を展開している。仕入先は米国が最も多く、ドイツ、日本が続く。2026 年 3 月期の国内半導体商社市場におけるシェアは 20%。市場リーダーとして、世界の大手半導体メーカーの大半の製品を取り扱っている。同年度の半導体事業の売上高は、車載・産業機器向けが約 70%を占めた。社員の 3 分の 1 を占めるエンジニアによるコンサルティング営業が強みであり、海外事業への精通、技術 PR、デマンドクリエーションの能力も仕入先から高く評価されている。サイバーセキュリティ事業では、セキュリティ、データ／AI、アプリケーションを国内外に提供。先端ソリューションの市場創出を通じて高い付加価値を生み出しており、主力のサイバーセキュリティ領域は高成長分野だ。

コンサルティング営業とデマンドクリエーションが強み

高付加価値のサイバーセキュリティ事業は高成長分野

バランスシートは強固で、ネットデットは限定的だ。同社は主力の半導体・サイバーセキュリティ事業に加え、将来的な収益性向上と市場成長が期待される CPS ソリューション事業への投資を拡大し、第三の事業の柱に育成する方針だ。

同社の中期経営計画（2026 年 3 月期～2028 年 3 月期）の目標は以下のとおり（比較および成長率の基準は 2026 年 3 月期）。

- **売上高：1 兆 4,000 億円（2026 年 3 月期：1 兆 2,142 億円、年平均成長率約 7%）**
- **営業利益：800 億円（同 420 億円、年平均成長率約 38%）**
- **ROE：15%以上（同 10.5%）**

当社は、以下の要因がマクニカ HD の中期成長を支えると予想する。

半導体の構造的需要が長期成長を支える

- **産業機器・車載向けの拡大** – 各国政府の補助金を背景に、半導体製造装置の需要拡大が見込まれる。また、カーボンニュートラルへの移行、太陽光・蓄電・風力発電の開発、EV の普及、データセンター建設などの複合的な要因が、半導体事業の構造的成長を支える。
- **サイバーセキュリティ事業の利益成長** – 高付加価値商品の販売促進により、利益成長および利益率の改善を見込む。

サイバーセキュリティと CPS ソリューションが利益拡大の柱

- **CPS ソリューション事業の成長** – CPS ソリューション事業が第三の柱として成長し、将来的に高い収益性を実現することで、事業ミックスの改善が期待される。
- **非オーガニック成長** – 半導体販売業者やサイバーセキュリティ分野のソフトウェア開発会社の買収が、市場シェアの拡大につながる可能性がある。

会社紹介

概要

28,000 社超の顧客・380 社の仕入先との広範な連携

マクニカ HD は半導体、電子機器、サイバーセキュリティ製品の専門商社で、日本および中国などの海外市場で事業を展開している。1972 年に電子部品販売会社として設立され、2015 年に富士エレクトロニクスとの経営統合によりマクニカ・富士エレホールディングスを設立（2022 年にマクニカホールディングスに商号変更）。2025 年 6 月時点で世界 33 ヵ国・地域に 100 拠点を展開し、顧客は 28,000 社超、仕入先は 380 社に上る。仕入先は米国が中心で、ドイツと日本が続く。国内半導体商社市場で 20%のシェアを有する市場リーダーだ。2026 年 3 月期の主なエンドマーケットは産業機器・車載で、コンピュータ、民生機器、通信、OA・周辺機器が続く。

高利益率のサイバーセキュリティ事業がミックス改善に貢献

従来、半導体事業が利益の最大の源泉だったが、同社はサイバーセキュリティ事業の拡大を通じて、さらなる利益成長を目指している。同事業はセキュリティ、データ／AI、アプリケーションを国内（構成比 64%）および海外（36%）の幅広い業種に提供する。為替変動などが一時的に利益率に影響したものの、収益性は半導体事業を大きく上回る。米国やイスラエルなどの先端技術について、国内および進出先の海外市場で認知が十分でない段階から市場を開拓し、顧客の技術活用を支援することで高付加価値を提供している。新たな脅威、クラウドや IoT（モノのインターネット）などの技術進化、規制強化が、サイバーセキュリティ市場の高成長を支える。

CPS ソリューション事業は高付加価値と参入障壁が収益性を支える

半導体・サイバーセキュリティに次ぐ第三の柱として、同社は CPS（サイバーフィジカルシステム）ソリューション事業を拡大している。同事業は、多様な分野を対象に、コンサルティングを通じてプラットフォームソリューションを提供する。長年培った半導体・ネットワーク関連製品の知見を活かし、きめ細かな提案で付加価値を生み出す点が特徴だ。多くの大手コンサルティング会社が概念的・表面的な提案にとどまるのに対し、顧客の要望を実現するために具体的にどの製品を組み合わせるかまで踏み込むことで差別化している。国内販売シェア首位として幅広い製品を取り扱うことが、豊富な知見と高い提案力につながる。この事業規模が高い参入障壁を形成しており、CPS ソリューション事業はサイバーセキュリティ事業と同様に事業ミックスの改善に寄与し得る。

主な沿革

年月	事項
1972	横浜市東白楽に、電子部品などの販売を目的としたジャパンマクニクス株式会社を設立。
1992	ジャパンマクニクス株式会社から株式会社マクニカに商号変更。
2000	**東京証券取引所第二部に上場。**
2001	**東京証券取引所第一部に指定替え。**
2008	香港の CYTECH がグループ入りし、M&A を通じた海外展開を加速。
2015	**富士エレクトロニクスと経営統合し、共同持株会社マクニカ・富士エレホールディングスを設立。**
2019	AI 事業を本格始動。
2020	**国内半導体事業を再編。10 月に完全子会社の株式会社マクニカが富士エレクトロニクスを吸収合併。**
2022	8 月にマクニカホールディングス株式会社に商号変更し、グループブランドを統一。

出所：会社データ

JGAAP に基づく要約財務諸表

損益計算書 （10 億円）	期 3/25	期 3/26	期 3/27E	期 3/28E	期 3/29E
売上高	**1,034.18**	**1,214.20**	**1,689.69**	**1,800.12**	**1,919.25**
売上原価	912.93	1,083.76	1,503.82	1,593.11	1,698.54
売上総利益	**121.25**	**130.44**	**185.87**	**207.01**	**220.71**
売上総利益率(%)	11.7	10.7	11.0	11.5	11.5
営業利益	**39.65**	**41.95**	**67.61**	**77.50**	**88.33**
営業利益率(%)	3.8	3.5	4.0	4.3	4.6
営業外収益	1.73	2.83	4.50	3.66	4.08
営業外費用	(4.06)	(7.39)	(5.73)	(6.56)	(6.14)
経常利益	**37.32**	**37.39**	**66.38**	**74.61**	**86.27**
特別利益	1.16	1.81	1.00	1.00	1.00
特別損失	(0.98)	(0.56)	(0.50)	(0.50)	(0.50)
税引前当期純利益	**37.49**	**38.64**	**66.88**	**75.11**	**86.77**
法人税等	(10.66)	(10.09)	(19.40)	(21.78)	(25.16)
実効税率(%)	28.4	26.1	29.0	29.0	29.0
当期純利益	**26.83**	**28.55**	**47.49**	**53.33**	**61.61**
非支配株主に帰属する純利益	1.55	0.78	1.09	1.16	1.23
親会社株主に帰属する純利益	**25.28**	**27.77**	**46.40**	**52.17**	**60.37**
売上高前年比伸び率（%）	+0.5	+17.4	+39.2	+6.5	+6.6
営業利益前年比伸び率（%）	-37.8	+5.8	+61.2	+14.6	+14.0
税引前当期純利益前年比伸び率(%)	-43.4	+3.1	+73.1	+12.3	+15.5
当期純利益前年比伸び率（%）	-47.4	+9.8	+67.1	+12.4	+15.7

キャッシュフロー計算書 （10 億円）	期 3/25	期 3/26	期 3/27E	期 3/28E	期 3/29E
税引前当期純利益	**37.49**	**38.64**	**66.88**	**75.11**	**86.77**
減価償却費	3.90	4.58	6.76	7.20	7.68
運転資金の増減	(10.92)	(18.21)	(117.15)	(19.34)	(32.58)
その他の非現金項目	9.26	0.32	-	-	-
法人税等支払額	(15.50)	(6.56)	(19.40)	(21.78)	(25.16)
営業活動によるキャッシュフロー	**24.23**	**18.77**	**(62.90)**	**41.19**	**36.70**
設備投資	(3.61)	(2.96)	(4.11)	(3.60)	(3.84)
買収・出資持分の取得	(6.26)	-	-	-	-
その他の投資キャッシュフロー	0.44	1.65	1.05	1.35	1.20
投資活動によるキャッシュフロー	**(9.43)**	**(1.31)**	**(3.07)**	**(2.25)**	**(2.64)**
配当金支払額	(13.49)	(12.57)	(12.50)	(16.07)	(17.85)
借入・社債発行（返済・償還）	12.23	(0.82)	75.00	-	-
株式発行（自己株式取得）	(3.00)	-	(5.00)	-	-
その他	0.03	(1.77)	(1.77)	(1.77)	(1.77)
財務活動によるキャッシュフロー	**(4.23)**	**(15.16)**	**55.73**	**(17.84)**	**(19.62)**
為替影響	(0.75)	3.61	-	-	-
ネットキャッシュフロー	**9.83**	**5.92**	**(10.23)**	**21.10**	**14.44**
フリーキャッシュフロー（FCF）	**20.63**	**15.82**	**(67.02)**	**37.59**	**32.86**
EBITDA	**43.55**	**46.53**	**74.37**	**84.70**	**96.01**
EBITDA 利益率（%）	4.2	3.8	4.4	4.7	5.0
FCF マージン（%）	2.0	1.3	-4.0	2.1	1.7
FCF コンバージョン（%）	55.0	40.9	N/A	50.0	37.9
設備投資／売上高（%）	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
設備投資／減価償却費（%）	92.5	64.6	60.9	50.0	50.0
営業 CF マージン（%）	2.3	1.5	-3.7	2.3	1.9

貸借対照表 （10 億円）	期 3/25	期 3/26	期 3/27E	期 3/28E	期 3/29E
現金及び預金	48.53	54.39	44.15	65.25	79.69
商品	234.55	263.91	367.26	391.27	417.16
売掛金	214.42	292.45	406.98	433.58	462.27
その他	27.44	57.12	79.49	84.69	90.29
流動資産	**524.94**	**667.87**	**897.88**	**974.78**	**1,049.41**
有形固定資産	9.45	9.47	10.18	10.54	10.92
のれん	0.58	0.11	0.11	0.11	0.11
無形固定資産	6.32	5.93	6.64	7.00	7.38
投資等	7.96	8.12	8.12	8.12	8.12
その他	7.20	9.38	9.38	9.38	9.38
固定資産	**31.50**	**33.02**	**34.43**	**35.15**	**35.91**
資産合計	**556.44**	**700.89**	**932.31**	**1,009.93**	**1,085.33**
短期借入金	75.29	76.48	76.48	76.48	76.48
買掛金	147.89	225.25	320.46	339.49	361.96
その他	69.89	107.83	135.72	153.15	158.29
流動負債	**293.06**	**409.57**	**532.67**	**569.12**	**596.73**
長期借入金	0.64	1.01	76.01	76.01	76.01
その他長期負債	1.26	1.19	1.19	1.19	1.19
長期負債	**1.90**	**2.20**	**77.20**	**77.20**	**77.20**
株主資本	**252.41**	**278.93**	**308.27**	**348.51**	**395.30**
新株予約権	-	-	-	-	-
非支配株主持分	9.06	10.18	14.17	15.10	16.10
純資産	**261.48**	**289.12**	**322.44**	**363.60**	**411.39**
負債・純資産合計	**556.44**	**700.89**	**932.31**	**1,009.93**	**1,085.33**

主要指標	期 3/25	期 3/26	期 3/27E	期 3/28E	期 3/29E
収益性					
売上総利益率(%)	11.7	10.7	11.0	11.5	11.5
営業利益率(%)	3.8	3.5	4.0	4.3	4.6
当期純利益率(%)	2.4	2.3	2.7	2.9	3.1
ROA(%)	4.6	4.4	5.7	5.4	5.8
ROE(%)	10.2	10.5	15.8	15.9	16.2
ROCE(%)	15.1	14.4	16.9	17.6	18.1
ROIC(%)	8.9	9.1	11.7	11.4	12.0
流動性					
流動比率(倍)	1.8	1.6	1.7	1.7	1.8
当座比率（倍）	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1
レバレッジ					
D/E レシオ(倍)	0.3	0.3	0.5	0.4	0.4
ネット D/E レシオ(倍)	0.1	0.1	0.4	0.3	0.2
自己資本比率(%)	45.4	39.8	33.1	34.5	36.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
ネットデット/EBITDA（倍）	0.6	0.5	1.5	1.0	0.8
バリュエーション					
EPS(公表値)(円)	140.9	155.5	259.9	292.2	338.2
PER(倍)	**20.7**	**18.8**	**11.2**	**10.0**	**8.6**
希薄化後 PER(倍)	**20.7**	**18.8**	**11.2**	**10.0**	**8.6**
DPS（円）	70.0	70.0	90.0	100.0	120.0
配当性向(%)	49.7	45.0	34.6	34.2	35.5
配当利回り(%)	**2.4**	**2.4**	**3.1**	**3.4**	**4.1**
FCF 利回り(%)	**3.9**	**3.0**	**(12.8)**	**7.2**	**6.3**
希薄化後 FCF 利回り(%)	**3.9**	**3.0**	**(12.8)**	**7.2**	**6.3**
PBR(倍)	**2.1**	**1.9**	**1.7**	**1.5**	**1.3**
EV/売上高倍率(倍)	0.5	0.5	0.3	0.3	0.3
EV/EBITDA 倍率(倍)	12.8	12.0	7.5	6.6	5.8
EV/EBIT 倍率(倍)	14.0	13.3	8.2	7.2	6.3
EV/FCF 倍率(倍)	27.0	35.2	N/A	14.8	16.9

出所：会社データ、アストリス・アドバイザリー予想

免責事項

本レポートは、アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社が作成したものです。本レポートは、アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社が信頼できると考える公開情報源から入手した情報に基づいていますが、独自検証は行っておらず、その正確性や完全性について保証、表明、保証をするものではありません。本レポートは、当該企業について述言及すべき全事項を記載したものではなく、また、記載を試みるものでもありません。ここに記載された意見は、本レポート作成時点におけるアストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社の判断を反映したものであり、予告なく変更される場合があります。本レポートに記載されている将来の見通しに関する情報または記述には、仮定、今後の業績予測、未確定な金額見積もりなどに基づく情報が含まれているため、既知および未知のリスク、不確実性および、このテーマに関する実際の結果、業績または成果が現在の予想とは大きく異なる可能性をもたらすその他要因が含まれています。

本レポートは概説として作成されたものであり、特定の金融商品または戦略を個人的に推奨するものではなく、また個人的な投資アドバイスを構成するものでもありません。

アナリストは、（ｉ）本レポートで表明する見解は、本レポートの対象である企業および証券に関する当該リサーチアナリストの個人的見解を正確に反映していること、（ii）当該リサーチアナリストの報酬のいかなる部分も、直接的にも間接的にも当該リサーチアナリストが本レポートで述べた見解に過去、現在、未来を通して関連しないことをここに証明します。

本レポートは、日本法に基づき設立され、日本の金融庁の監督下にあるアストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社により作成されました。現地当局による規制範囲に関する詳細をご要望の場合は、弊社から入手可能です。

利益相反

本レポートは、当該企業が委託して費用を負担したものであり、MiFID II で定義される許容可能な軽微な非金銭的利益に該当すると判断されるものです。

読者は、アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社が、現在、もしくは今後 3 ヶ月以内およびその後に、当該企業に対して IR/コーポレート・アドバイザリーなどのサービスを提供する、または提供することを求める可能性があることを前提とする必要があります。

記載金融証券への投資：アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、取締役、役員、従業員およびサービスプロバイダーの個人的な取引について制限的な方針をとっています。アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、投資業務を行っておらず、本レポート記載の金融証券は一切保有していません。

責任制限

アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、本レポートに基づき投資家が行った投資、売却、保有の決定に関して、いかなる責任も負わないものとします。アストリス・アドバイザリー・ジャパン株式会社は、本レポートの情報に起因する直接的、間接的、偶発的、特別、または結果的損害（予見可能か否かを問わず）に対して、一切の責任を負わないものとします。

Copyright 2026 Astris Advisory Japan K.K. All rights reserved.

全著作権所有。無断転載禁止